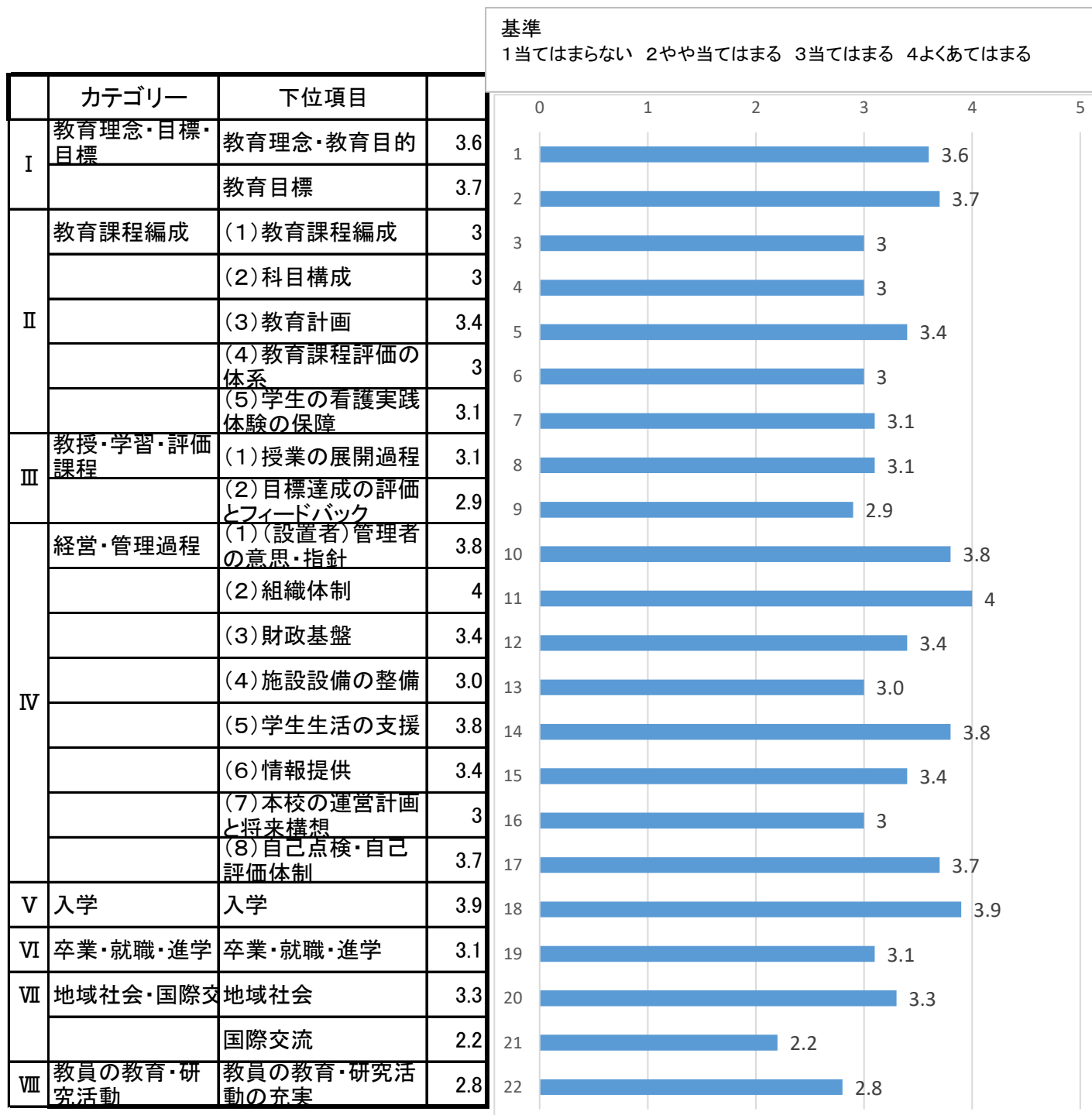


表Ⅲ 令和5年度 武生看護専門学校 自己点検・自己評価の結果



概要と課題

- ・ 全体的にほぼ例年どおりの結果であった。
- ・ カテゴリーⅡの教育課程編成では、昨年度からの新カリキュラム改正時に教育理念・目的・目標を見直し、それらに合わせた教育課程・科目の設定をしているが、その達成に向けた一貫した活動と評価体系を整えていく必要がある。
- ・ Vの入学については、高評価ではあるが、年々入学生の応募者が減少し、定数確保が困難になっているため、学生確保のための方策を検討し実施していく必要がある。
- ・ VIIの地域社会・国際貢献については、できるだけ地域との連携を図るような授業や国際協力体験者の講義を取り入れた講義を取り入れているが、今後は地域社会・国際貢献についての意識の醸成を図るような工夫が必要である。
- ・ 教員の教育・研究活動については、例年から低い傾向にある。従来業務の中でスクラップできるものがないか検討し、講義準備や自己研鑽の時間を確保するような工夫が必要である。